

東京都特別区部の転出超過の状況 ～住民基本台帳人口移動報告 2021 年の結果から～

総務省統計局統計調査部国勢統計課調査官 永井 恵子

はじめに

本日、住民基本台帳人口移動報告の 2021 年の結果を公表しました。

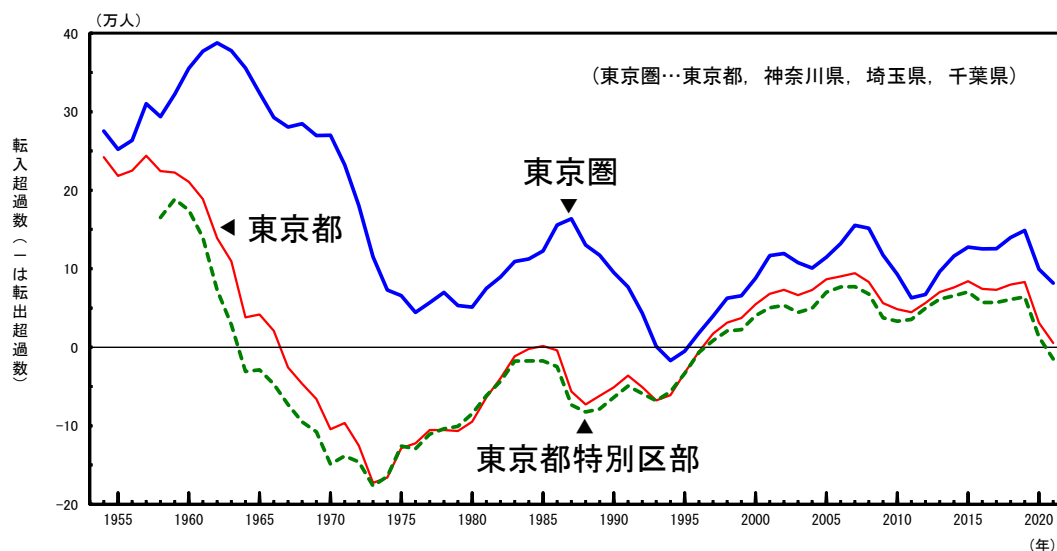
新型コロナウイルス感染症の流行下において、2020 年、2021 年の国内の人口移動の状況は、近年続いていた東京一極集中とは異なる様相を表しています。

本稿では、東京都特別区部の転出超過の状況について、その特徴を紹介します。

東京都特別区部は 2014 年以降初めての転出超過

東京圏及び東京都は転入超過となったものの、転入超過数は 2 年連続の縮小となりました。東京都特別区部は、外国人を含む集計を開始した 2014 年以降初めての転出超過となっており、日本人についても 1996 年以来 25 年ぶりに転出超過となりました。
(図 1)

図 1 東京圏、東京都及び特別区部の転入超過数（1954 年～2021 年）



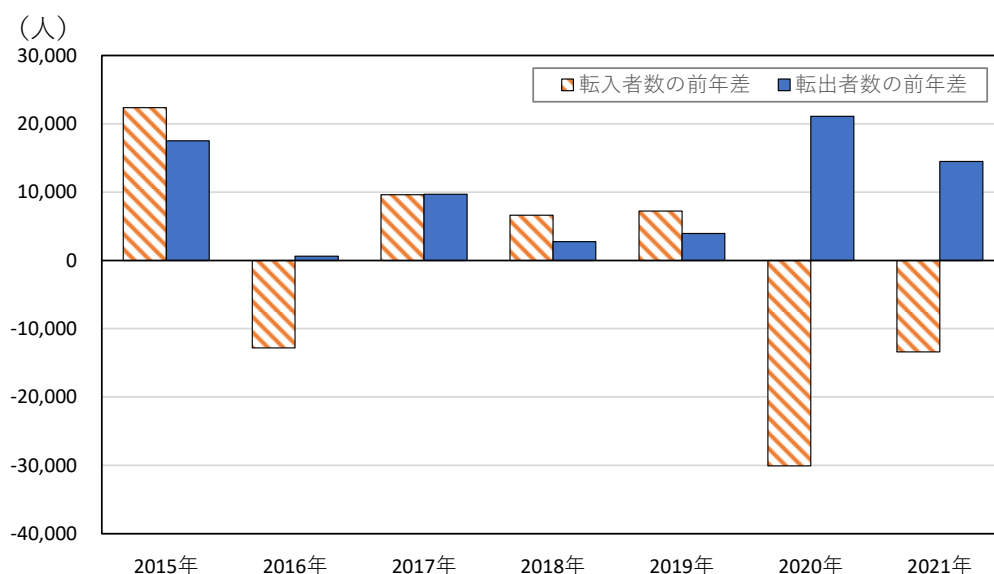
注 1) 1954年から2013年までは、日本人のみ。

注 2) 東京都特別区部については、1958年から集計を開始した。

東京都特別区部は転入者が減少し、転出者が増加

東京都特別区部の転入・転出の状況を見ると、転入者数は2020年に大きく減少し、2021年も引き続き減少となっています。一方、転出者数は、7年連続の増加となっており、特に2020年及び2021年は大きく増加しています。（図2）

図2 東京都特別区部の転入者数及び転出者数の前年差（2015年～2021年）



東京都特別区部への転入者については、現時点では全ての市町村別には集計していない¹ため、どこからの転入者が減少しているかをみることはできませんが、東京都への転入の状況を見ると、37の府県で減少しており、広い範囲で転入の減少が起きていることが分かります。一方で東京都からの転出は、25の道県で増加、21の府県で減少と地域によって違いがみられ²、同様のことが東京都特別区部でも起きていると予想されます。

では、この増加している東京都特別区部からの転出者は、どこに転出しているのか、その転出先を見てみましょう。

¹ 参考表として、今後、公表予定

² 文末の参考表参照

転出者が増加したのは、藤沢市、茅ヶ崎市、町田市など 転出先は、2019年に比べ、より都心から離れる傾向

2021年の転出者数で見ると、横浜市、川崎市、さいたま市の順に多くなっており、大都市及び近隣の規模のある程度大きな市で多い傾向があります。上位11市の顔ぶれは2018年～2021年の4年間同じであり、また、6位までは順位も変わっておらず、転出者数そのものでみた場合には転出先は安定しています。（表1）

表1 東京都特別区部の転出者数 転出先上位11市町村（2018年～2021年）

移動後の住所地	転出者数（人）							
	2018年		2019年		2020年		2021年	
横浜市	24,224	(1)	24,778	(1)	27,189	(1)	29,089	(1)
川崎市	20,740	(2)	21,724	(2)	22,281	(2)	22,757	(2)
さいたま市	10,661	(3)	11,095	(3)	11,746	(3)	13,077	(3)
川口市	9,043	(4)	9,147	(4)	9,410	(4)	9,690	(4)
市川市	7,814	(5)	7,938	(5)	7,986	(5)	8,192	(5)
大阪市	7,488	(6)	7,709	(6)	7,763	(6)	7,753	(6)
千葉市	5,392	(10)	5,551	(10)	5,964	(9)	6,824	(7)
名古屋市	6,472	(7)	6,570	(7)	6,457	(7)	6,529	(8)
船橋市	5,947	(8)	5,936	(8)	6,355	(8)	6,519	(9)
福岡市	5,283	(11)	5,479	(11)	5,529	(11)	5,853	(10)
松戸市	5,939	(9)	5,675	(9)	5,813	(10)	5,768	(11)

注) () は各年の順位

では、2021年に転出者が増えたところはどこでしょうか。

転出者数の前年差で見ると、横浜市、さいたま市、千葉市の順になっており、3位までは、転出者数の多い市町村と顔ぶれが同じですが、4位以下には、藤沢市、茅ヶ崎市、町田市など転出者数そのものでは上位に出てこない市が並びます。新型コロナウイルス感染症が流行する前の2019年との差でも、同様に藤沢市、茅ヶ崎市、町田市、柏市の4市が入っています。（表2）

**表2 東京都特別区部の転出者数 前年差及び対2019年差
転出先上位10市町村（2021年）**

前年差（人）		対2019年差（人）	
移動後の住所地	2021年	移動後の住所地	2021年
横浜市	1,900	横浜市	4,311
さいたま市	1,331	さいたま市	1,982
千葉市	860	藤沢市	1,354
藤沢市	641	千葉市	1,273
茅ヶ崎市	565	川崎市	1,033
町田市	503	茅ヶ崎市	873
川崎市	476	町田市	849
草加市	422	柏市	641
流山市	404	つくば市	629
柏市	380	鎌倉市	620

転出者数の前年増減率（増減率を安定的にみるため、2021年に1,000人以上の転出者があった市町村に限る。以下同じ。）でみると、茅ヶ崎市、藤沢市、上尾市の順に高くなっています。差と同様に2019年からの増減率でみると、茅ヶ崎市、藤沢市、つくば市の順に高くなっています。茅ヶ崎市、藤沢市、上尾市、日野市、町田市、つくば市の6市は、どちらでみても上位10位に入っています。（表3）

**表3 東京都特別区部の転出者数 前年増減率及び対2019年増減率
転出先上位10市町村（2021年）**

前年増減率（％）		対2019年増減率（％）	
移動後の住所地	2021年	移動後の住所地	2021年
茅ヶ崎市	44.0	茅ヶ崎市	89.5
藤沢市	21.5	藤沢市	59.9
上尾市	18.7	つくば市	44.1
国立市	18.3	鎌倉市	44.1
日野市	17.4	町田市	32.1
町田市	16.8	日野市	31.0
流山市	15.3	八千代市	29.1
千葉市	14.4	上尾市	27.9
草加市	12.3	大和市	26.6
つくば市	12.0	立川市	23.4

注) 2021年の東京都特別区部からの転出者数1,000人以上の市町村

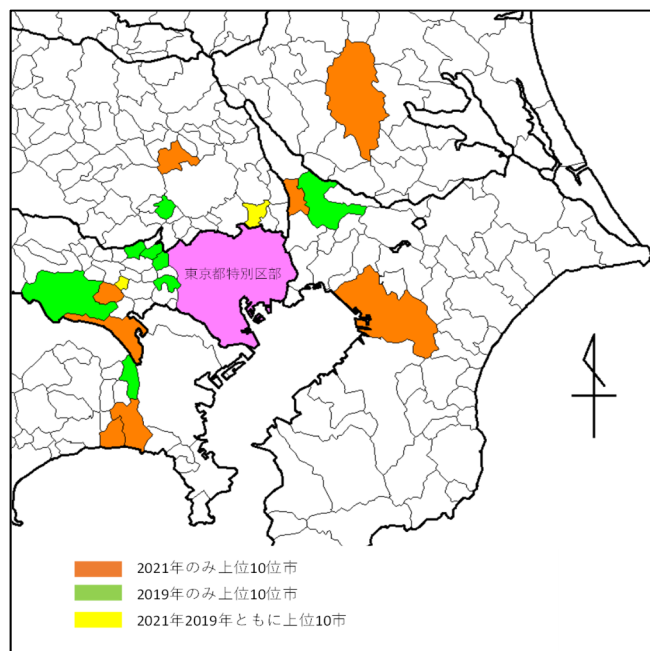
ここで、転出者数の前年増減率上位 10 市町村の位置をみると、新型コロナウイルス感染症が流行する前の 2019 年は、富士見市、柏市、西東京市、三鷹市、八王子市、草加市、国立市、東久留米市、東村山市など、東京都内もしくは特別区部に近接している市で高い傾向がありました。転出者が増加する背景には交通の便の良さや住環境など様々な要因があると思われます。また、報道等では、コロナ等の影響により、住居を都内から郊外に移すといった話も見られたところですが、2021 年は、茅ヶ崎市、藤沢市、上尾市、日野市、町田市、つくば市など、2019 年と比べると、東京都外や特別区部からより離れたところで高くなっている傾向がみられます。(表 4、図 3)

**表 4 東京都特別区部の転出者数 前年増減率
転出先上位 10 市町村 (2019 年～2021 年)**

2019年		2020年		2021年	
移動後の住所地	前年増減率 (%)	移動後の住所地	前年増減率 (%)	移動後の住所地	前年増減率 (%)
富士見市	17.0	茅ヶ崎市	31.6	茅ヶ崎市	44.0
柏市	13.6	藤沢市	31.5	藤沢市	21.5
西東京市	11.8	鎌倉市	29.7	上尾市	18.7
三鷹市	10.3	つくば市	28.7	国立市	18.3
八王子市	9.9	清瀬市	26.9	日野市	17.4
大和市	9.9	小金井市	25.9	町田市	16.8
草加市	9.9	八千代市	24.6	流山市	15.3
国立市	9.6	立川市	21.9	千葉市	14.4
東久留米市	9.1	三鷹市	17.2	草加市	12.3
東村山市	8.4	大和市	17.2	つくば市	12.0

注) 2021 年の東京都特別区部からの転出者数 1,000 人以上の市町村

**図 3 東京都特別区部の転出者数 前年増減率
転出先上位 10 市町村 (2019 年、2021 年)**



注) 2021 年の東京都特別区部からの転出者数 1,000 人以上の市町村

おわりに

我が国における新型コロナウイルス感染症の流行は3年目に入り、まもなく進学や就職などで最も人口移動が多くなる3月を迎えます。東京都及び東京都特別区部への転入超過も年間で最も大きくなる月です。東京都への集中緩和の動きは、特に都心である特別区部でみられていますが、この動きは一過性のものなのか、今後も継続するものなのか、この3月の動きも含めた今後の国内人口移動の動向に是非御注目ください。

※住民基本台帳人口移動報告 2021 年結果の詳しい内容については、
<https://www.stat.go.jp/data/idou/2021np/jissu/youyaku/index.html> を御覧ください。

(令和4年1月28日)

参考表 東京都の転入・転出の状況（2021年・前年差）

前年差	2021年（人）	
道府県	転入	転出
北海道	85	116
青森県	-281	-25
岩手県	-129	-113
宮城県	-139	83
秋田県	-163	-120
山形県	-142	22
福島県	-446	-128
茨城県	-881	626
栃木県	-328	-142
群馬県	-405	150
埼玉県	-2,458	3,774
千葉県	-2,537	2,299
神奈川県	-2,245	4,777
新潟県	-249	157
富山県	-81	2
石川県	-106	85
福井県	-20	-89
山梨県	-275	548
長野県	-168	264
岐阜県	-95	104
静岡県	-347	131
愛知県	-131	-188
三重県	113	-12
滋賀県	30	111
京都府	40	-7
大阪府	-126	-25
兵庫県	-158	-32
奈良県	-25	148
和歌山県	-59	-54
鳥取県	60	-7
島根県	-5	-111
岡山県	-210	-91
広島県	71	-198
山口県	-166	46
徳島県	-45	73
香川県	-88	-135
愛媛県	76	40
高知県	35	10
福岡県	-165	654
佐賀県	-57	-51
長崎県	-184	-61
熊本県	-144	136
大分県	-19	52
宮崎県	-49	-29
鹿児島県	-170	194
沖縄県	23	-55
増加道府県数	9	25
減少道府県数	37	21